

投稿論文執筆要項

(2024年8月8日改定)

1. 原稿は、日本語で書かれた未発表のものに限ります(他の雑誌等に投稿中のものは投稿できません)。
2. 要約とキーワード
 特集論文・自由投稿論文には和文 600 字以内及び英文 150 語以内の要約をつけます。各要約の末尾には、それぞれの言語で 3 語のキーワードを明記して下さい。
3. 提出原稿の書式と分量
 原稿は以下の原則に厳密に従って提出して下さい。
 - (1) 特集論文・自由投稿論文は、①表題、②和文要約、③キーワード、④本文(図表を含む)、⑤注、⑥引用文献、⑦英文表題、⑧英文要約、⑨英語キーワードの順序で構成して下さい。
 - (2) 原稿は A4 版横書きにて 40 字×40 行で作成して下さい。表題・注・文献リスト・要約等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで作成して下さい。東北社会学会ウェブサイトの「社会学年報 概要」ページから投稿論文用テンプレートファイルをダウンロードできますので、適宜ご利用ください。
 - (3) 自由投稿論文は、3.(1)の①表題から⑨英語キーワードまで含めて、18,000 字以内でおさめるようにして下さい。図表は刷り上がり 4 分の 1 ページ大を 400 字相当として字数換算すること。
4. 表記法
 - (1) 句読点は、全角の「. 」と全角の「, 」を用います。
 - (2) 英数字は原則として半角文字を使います。
 - (3) 節、小節には半角文字を用いて、それぞれ「1.」「1.1」のように記入下さい。
 - (4) 原則として西暦を用います。元号を使用するときには、「昭和 29 年(1954 年)」のように記して下さい。
5. 図表・写真
 - (1) 表は上部中央に、「表 1 人口の構成」のように題名を記して下さい。他の文献から引用する場合は、表の下部に「出典：厚生省人口問題研究所『人口統計資料集 1998 年』」のように、引用した文献を示して下さい。
 - (2) 図は図の下部中央に、「図 1 人口の構成」のように題名を記して下さい。引用する場合は、題名の下部に表の場合と同様に出典を示して下さい。
6. 注・引用文献
 - (1) 注は、本文該当箇所の右肩に通し番号で(1)(2)と記し、本文の最後にまとめて記載します。
 - (2) 引用文献の参照形式及び文献リストのあげ方は、最新の『社会学評論スタイルガイド』(日本社会学会編集委員会)に準拠して下さい。

<http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php>

- ・ 引用文献は、()でくくって、(著者名 原著発表年: 原著引用頁=邦訳書刊行年: 邦訳書引用頁)の順で記載します。
- ・ 文献リストは、著者名(アルファベット順)、発表年、「論文名」編者名『書名/雑誌名』、出版社名(巻)号:所在頁の順で記載します。
- ・ 和文文献は、書名・雑誌名を『』で、論文名を「」でくくって下さい。欧文書名/雑誌名はイタリック体にして、論文名を“”でくくって下さい。

(例示)

① 引用文献は以下のように表示します。

- ・ リースマンは「もし、他人指向的な人間が権力を求めているのだとすれば、何をかれは求めているのだろうか」(Riesman 1950: 240=1964: 223)と述べている。
- ② 同一著者の同一年の文献については、(黒岡 1981a: 223)のようにa, b, c, をつけて下さい。
- ③ 文献リストは以下のように表示します。

文献

Blumer, H., 1971, "Social Problems as Collective Behavior," *Social Problems*, 18: 298-306.

Klandermans, B., 1992, "The Social Construction of Protest and Multiorganizational Fields," A. Morris and C. M. Mueller eds., *Frontiers in Social Movement Theory*, New Heaven: Yale University Press, 77-103.

黒岡千佳子, 1981a, 「わが国における女性高等教育の発展と女性エリート形成」『教育学研究』48(1): 43-53.

———, 1981b, 「わが国における現代女性エリートの意識と実態」『大阪大学教育社会学・教育計画論研究集録』2: 27-61.

Riesman, D., 1950, *The Lonely Crowd*, New Heaven: Yale University Press. (=1964, 加藤秀俊訳『孤独な群集』みすず書房.)

作田啓一, 1996, 『個人』三省堂.

吉川正之, 1980, 「社会生活への評価と展望」NHK放送世論研究所『80年代と日本人——生活意識と社会像』日本放送出版協会, 31-79.

7. その他の書式

その他の原稿書式については、最新の『社会学評論スタイルガイド』(日本社会学会編集委員会)に準拠してください。

8. 原稿の提出

以下の2つを提出してください。

A) 原稿

WordファイルおよびPDFファイルの2つを提出してください。原稿には執筆者名を記さないでください。

B) 別紙

以下の5項目を明記した別紙をWordファイルで提出してください。

- ① 論文タイトル
- ② 投稿日付
- ③ 文字数（文字数カウントには図表，スペースを含める．図表が1ページの1/4以内なら400字，1/2以内なら800字，1ページなら1600字として文字数に追加）
- ④ 執筆者情報：執筆者全員について，氏名（ふりがな）（複数の場合は代表者を明記），所属（学部・研究科なども），職位，所属住所（郵便番号・都道府県も，自宅可），電子メールアドレス，研究関心2～3点
- ⑤ 原稿が未発表であり二重投稿でないことの宣誓

9. 校正

執筆者による校正は初校のみとします．初校での校正は，原則として誤字・脱字等，誤植の訂正とし，加筆・修正は認められません．長期不在の場合，編集委員会に事前にご連絡下さい．

10. 原稿の提出先と締め切り

- (1) 原稿および別紙は『社会学年報』論文投稿用フォームからウェブ提出してください．論文投稿用フォームは東北社会学会ウェブサイト「社会学年報 概要」ページからアクセスできます．
- (2) 投稿受付は年1回，締め切りは日本時間12月31日23:59とします．
- (3) 原稿に形式的不備がないことを編集委員会が確認した後，原稿は受付され，原則として2週間以内に電子メールで代表者に通知されます．2週間を過ぎても受付連絡がない場合は，速やかに編集委員会にお問い合わせください．